

令和 2 年度実施 市民提案型協働事業

事前意見交換中間確認書

事業名	
提案団体名	事業担当課
平塚市食品ロス削減事業並びに相対的貧困解消事業	
NPO 法人フードバンクひらつか	環境政策課
バリアフリーサポートサイト構築	
NPO 法人 湘南ふじさわシニアネット	交通政策課

令和2年度実施 市民提案型協働事業 事前意見交換(中間・結果)確認書

事業名	バリアフリーサポートサイト構築	
実施主体	団体名	認定NPO法人 湘南ふじさわシニアネット
	事業担当課	交通政策課
意見交換の概要	<p>【提案団体の考え】</p> <p>審査委員からのご意見（市民のニーズの有無、サイトの具体的イメージ、維持管理コストの概算と負担方法、福祉・子育て部門との連携）や担当課からのご意見（平塚市への提案の動機、平塚市のメリット、協働でやるメリット、わくわくマップとの差別化は？）につき縷々ご説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズに関する具体的なデータは持ち合わせていない。一般情報としては「車いすユーザーの90%が、外出時に施設のバリアフリー情報を調べている」（バリアフリー情報共有アプリ「Bmaps」調査）があり参考とした。 ・サイトの具体的イメージは、PowerPointにて施設のバリアフリー整備個所の画像、目的地までのルートをマップ上に示し、更にルート上に注意コメントや画像あるいは動画にてビジュアルでシームレスな情報提供をするコンセプトをご説明。なお、高齢者や障がい者等の歩行が制約される方への案内をステップ1とし、次に、音声案内など視覚障がい者の方への案内をステップ2として、段階的な整備を予定。 ・維持費については今の段階で算出が難しいが、協働事業終了後の保守管理費用は、経験値から年間40～50万円程度と思われる。 ・福祉部・子育て部門などの他の関係部署との連携は、担当課ともご相談の上ご指摘通り進めていきたい。 ・平塚市との取組理由は、バリアフリー基本構想の策定がいち早く、大空襲後の市街区設定で現在の広い道路・歩道に、バリアフリー化を推進していることをPRしていき易い街であり、平塚市との協働事業としては、「ひらつかスポーツナビ」で実績があり提案団体とにとり親しみやすいパートナーであるといった点である。 ・平塚市のメリットは、今後「人口減少社会」「高齢化社会」「成熟（豊かさ・質重視）社会」に突入し、住みやすいをめぐって自治体間競争が生じてくる。その中で市民目線でワンストップのバリアフリーサポートサイトの役割は、市民の暮らしの向上に繋がり、先進取組事例として評価され、平塚市の魅力アップに繋げていけるのではないかとと思われる。 ・協働でやるメリットは、このサポートサイトでは、公共施設に留まらず、ルート上の商業施設や整備の対象外である小規模店舗も対象にする事により、利用者の利便性向上と整備対象の広がり効果も出る。一方サイト利用者が経験した不足な情報や改善点を投稿可能な仕組みを提供する事により、事業者側へのフィードバックを通じて事業の質の向上に繋がる。 ・「わくわくマップ」との差別化については、わくわくマップの一覧性は評価できるものの、目的の場所と危険場所との位置関係がイメージとしてわかる程度で、車いすの方がこれを見て最短かつ安全でスムーズに目的地まで移動できるとは思えない。一方、ポータルサイトは起点からのルート、公共交通利用の場合の乗降場所、歩行の場合の曲がり角や危険場所、目的地までの段差情報、経路途中の店舗のバリアフリーの整備情報等画像や動画を用いてシームレスに情報提供できるようにしたいと考えている。 	

